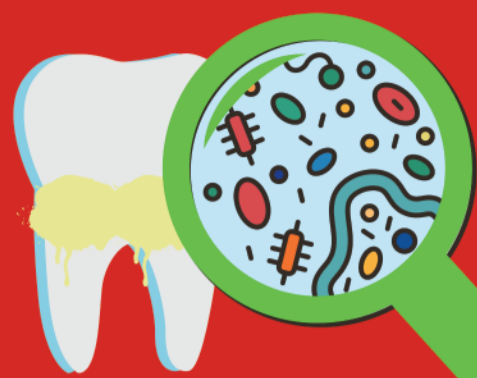
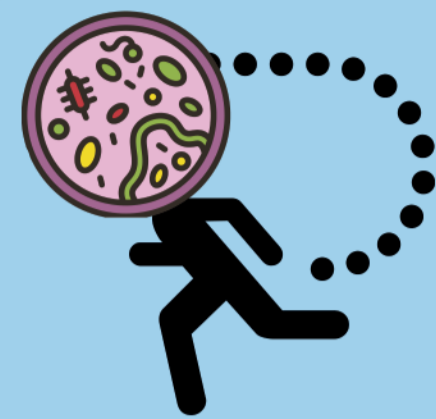




歯周病菌は全身を駆け巡る！



「たかが歯周病」はNG! 命にかかもあることも

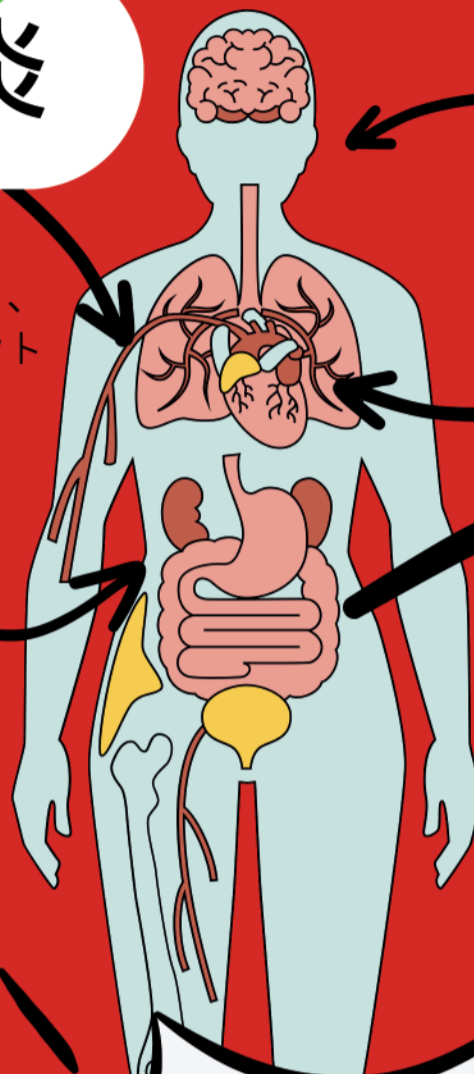


誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎の原因となる細菌の多くは、歯周病菌であると言われており、誤嚥性肺炎の予防には歯周病のコントロールが重要になります。

低体重児出産・早産

妊娠している女性が歯周病に罹患している場合、低体重児出産および早産の危険度が高くなることが指摘されています。



動脈硬化

↓ ↓
心臓病 脳梗塞

歯周病原菌などの刺激により動脈硬化を誘導する物質が出て血管内にプラーク(粥状の脂肪性沈着物)が出来血液の通り道は細くなります。プラークが剥がれて血の塊が出来るとその場で血管が詰まったり血管の細いところで詰まります。

糖尿病

引用：日本臨床歯周病学会
「歯周病が全身に及ぼす影響」
<http://www.jacp.net/perio/effect/>

歯周病と糖尿病の関係



チョキン!

歯周病悪化

炎症性サイトカイン増加

インスリン働き抑制

血糖値上昇

悪循環

糖尿病悪化

歯周病菌増加

免疫の働き低下

★一般に歯周治療で改善する糖尿病の検査値(ヘモグロビンA1c)の改善度は平均0.4%くらいと言われています。糖尿病のお薬1剤分に匹敵するという人もいます。

引用：日本歯科医師会「歯周病と糖尿病」
https://www.jda.or.jp/park/relation/periodontaldisease-diabetes_02.html

予防のポイント



①使いなそう! 歯間清掃具

歯周病菌はプラーク(歯垢)に潜んでいます。毎日の歯みがきでプラークをしっかり落とすことが大切です。歯ブラシだけでは汚れを落とすきれない、歯と歯の間は、歯間ブラシやデンタルフロスを使って、お口の中を清潔に保ちましょう!

歯と歯の間のプラーク(歯垢)対策

②歯科医院での 定期健診

定期的に歯科医院に行って、お口の中のチェックや、歯のクリーニングを受けることをおすすめします!歯みがきの相談、歯ブラシの当て方の確認もできます。

「治療のため」ではなく「予防のため」に、歯科医院に行ってみませんか?

